

歴史からみた現代貨幣理論の適用可能性 —日本の事例を中心に—

鎮目 雅人

〈要旨〉

本稿では、現代貨幣理論（MMT: Modern Monetary Theory）が提唱する貨幣に関する仮説について、歴史的経験に照らしてどの程度現実を説明する理論として適用可能か検討する。その際、最近の日本貨幣史の研究成果を踏まえ、日本の事例を中心に議論を進める。現代貨幣理論は歴史的にみて一定の妥当性を有する部分もあるが、その主張が無条件で妥当するとは言えない。MMT の歴史的妥当性を検証しつつ信用貨幣の流通の実態を探ることで、貨幣の本質について考察する際の新たな視点が得られる。

（早稲田大学）